

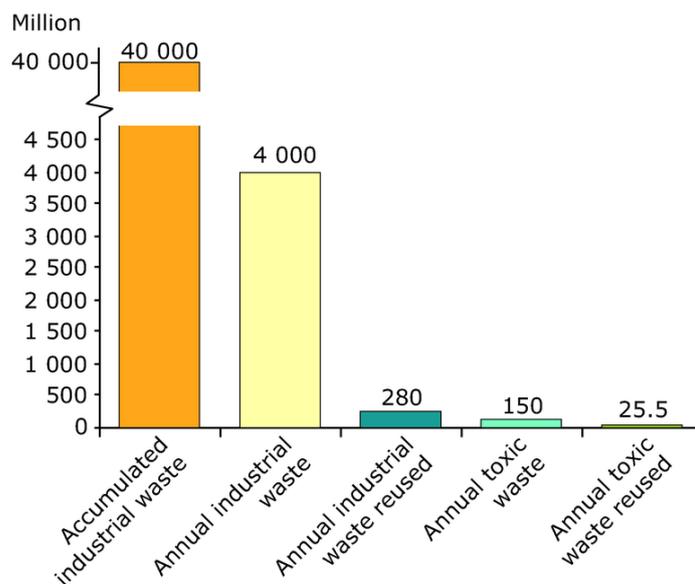
15. カザフスタン

15.1 カザフスタンの廃棄物処理・3R 関連情報

カザフスタンでは廃棄物処理に関する法制度は環境保護法(Environmental Code of the Republic of Kazakhstan (2007))の附則として定められている。地域での実際の廃棄物処理に当たっては、各地域が国の環境政策に従い、廃棄物処理の条例の整備、実際の廃棄物の回収や回収施設のための土地の準備等を進めることとしているが、責任と権限の所在が明確になっておらず、現状では回収・処理・処分のプロセスが適切に機能していない。

カザフスタンでは 2013 年現在、97%の固形都市廃棄物が管理の行きとどいていない埋立地や廃棄場に投棄されている。2013 年時点までの固形都市廃棄物の蓄積量は 230 億 t、毎年の排出量は 7 億 t に上る¹。

産業廃棄物に関しては、1/3 以上がカラガンダ地方に蓄積されており、2012 年末の時点で同地方での蓄積量は 85 億 t にも上っている。これらのほとんどが鉄鋼業界からの排出によるもので、Arcelor Mittal Temirtau JSC 社と Kazakhmys Corporation 社が二大排出元となっている。以下に European Environmental Agency によるカザフスタン全体での産業廃棄物の排出量と蓄積量を示す。



出典) European Environment Agency

図 1 カザフスタンでの産業廃棄物の排出量と蓄積量 (2012)²

カザフスタン政府は 2014 年 1 月、2014 年から 2050 年までの固形廃棄物管理の近代化に関するプログラムに合意し、都市固形廃棄物のリサイクル率を 2030 年までに 40%、2050 年までに 50%まで引き上げることとしている。³

¹ “Waste Management Situation in Kazakhstan” https://www.nwp.nl/sites/default/files/kazakhstan_waste_report.pdf

² “Industrial waste generation and accumulation in Kazakhstan” <http://www.eea.europa.eu/data-and-maps/figures/industrial-waste-generation-and-accumulation-in-kazakhstan>

³ “Concept for transition of the Republic of Kazakhstan to Green Economy” http://balticcleantech.com/wp-content/uploads/2016/03/1_Concept_for_transition_of_Kazakhstan_to_Green_Econom

本プログラムの実行により廃棄物処理分野が民間の投資家にも魅力的な分野となるよう変革させる計画であるとしている。プログラムでは廃棄物の回収トラックの増加により回収エリアを拡大させる予定で、有害廃棄物等の廃棄物の種別に応じた別回収、埋立の容量の倍増も計画されている。